

子どもたちの学びを応援！

Osaka city Education Network

OENニュース

OEN(Osaka City Education Network)ニュースでは、OENに関わる各校園の取組や、子どもたち・教職員の学びを応援して下さっているOEN登録者のみなさまが感じた、取組後の感想や校園と連携する意義、やりがいなどをお届けします。

OENに登録されている「ある製薬会社」様に、学校が取り組む「探究的な学習」へのご協力について、感想や得られたことを伺いました。

1

学校が取り組む「探究的な学習」に協力することを決めた理由を教えてください。

これまで弊社として、地域に何か貢献したいと考えてきました。しかし、単発の取組で終わってしまうと、記憶に残りにくいのではないかという思いがありました。そうした中で、探究的な学習を希望する学校が多いことを知り、弊社としても、仕事を進めるうえで小学生の柔軟な発想やアイデアを聞いてみたいと考えました。学校と弊社の双方にメリットがあると判断し、探究的な学習の取組に協力することを決めました。



3

学校教育に協力することへの、企業としてのメリットを教えてください。

企業として得られたメリットは、この学習を通じて、子どもたちに弊社や弊社の商品に親んでもらい、企業名や商品名を覚えてもらう機会をつくれたことです。また、取組当初は学校を応援する気持ちでしたが、子どもたちの笑顔や懸命に取り組む姿に触れるうちに、むしろ私たちが応援されているように感じました。さらに、企業として業務上のアイデアが固定化しがちな中で、子どもたちの柔軟な発想は大きな刺激になりました。



2

「探究的な学習」に協力してよかったと感じた子どもたちや教員の様子を教えてください。

「弊社の社員が会社を好きになるためのアイデア」を、子どもたちが動画や劇、スライドなど、さまざまな形で発表してくれました。弊社のことをたくさん調べてまとめてくれた子どもたちのがんばりに、感激しました。また、最後の発表の際、挨拶をした子どもが「終わってしまうと思うと寂しい気持ちになります」と言ってくれたことが印象的でした。私たちと一緒に取り組んだ探究的な学習が子どもたちの心に残り、学校の思い出の1ページになれたことを、とてもうれしく思います。



4

学校に協力するにあたり工夫された点や、ご苦労された点を教えてください。

内容や実施時期などについて、こちらの要望が授業や先生方のご負担にならないよう、可能な限り学校側の意見を取り入れられるように工夫しました。苦労した点は、授業の準備や当日の運営に想定以上の時間を要したことです。しかし、子どもたちや先生方に喜んでいただけたことが、その苦労を上回りました。今後も機会があれば、ぜひ協力したいと考えています。

